

第3号様式

令和6年度 京都府立大学地域貢献型特別研究（府大 ACTR）成果概要報告書

分類 番号	3	取組 名称	京都府北部の MALUI・高大連携による文化資源を生かした地域づくり
研究代表者所属・職名：文学部歴史学科・教授		氏名：東 昇	
研究担当者： 京都府立大学（小林啓治・井上直樹・池田さなえ） 外部分担者・協力者（福島幸宏・小室智子・杉田真菜・山本達也・酒井友康他）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府舞鶴市、舞鶴地方史研究会、福知山市文化スポーツ振興課、京都府立丹後郷土資料館、京都府立東舞鶴高校、京都府立福知山高校など			
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>京都府立大学の将来構想に基づき、「文化庁・きょうと MALUI 連携センター（仮称）」の取り組みとして、東舞鶴高校や福知山高校と大学が協力し、地域の歴史を学びながら、文化を活かした地域づくりの方法を一緒に考え、次世代への継承を進めました。</p> <p>※MALUI 連携とは、博物館 (Museum)、文書館 (Archives)、図書館 (Library)、大学 (University)、企業・産業 (Industry) が連携して情報を共有することで、地域の文化や学びを深める取り組みです。</p> <p>1 MALUI 連携と高大連携の接続と地域展開 2 府北部における MALUI 連携による文化資源のインフラ整備</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東舞鶴高校で「古写真から見る近代の舞鶴」という連携授業を行いました。高校3年生の「未来まちづくり探究」受講生が大学生と協力し、MALUI連携WEB「まるまる舞鶴」などを使って地域の歴史を調べ、レポートを作成しました。また、古写真をもとにクイズを作って発表するなど、楽しみながら地域の歴史を学び、情報の伝え方や活用する方法についても考える機会となりました。</li> <li>・福知山高校・附属中学校では、学校所蔵の古文書や拓本を活用した講座を通じて、江戸時代の福知山城下の生活や、古代東アジアの歴史について中高生と大学生が協力して学びました。古文書を実際に読み、背景を考察する体験を通じて地域の文化遺産への理解が深まりました。</li> <li>・舞鶴市史のOCR化（デジタル化）を進めるとともに、生成AIを活用した文化資源の利用可能性を検討しました。ワークショップでは教員・大学院生・学生が意見交換を行い、今後の実用化に向けた調整を進めています。</li> <li>・京都府立丹後郷土資料館所蔵の与謝野町や宮津市関係の古文書の整理を行い、所蔵者や文化財担当者に向けてその意義を説明しました。地域に受け継がれてきた文化資源の価値を再認識し、次世代への継承を図る取り組みとなりました。</li> </ul>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<p>2024. 9. 24、10. 19 MALUI連携授業「古写真から見る近代の舞鶴」、東舞鶴高校、計62名</p> <p>2024. 10. 26、12. 14 土曜講座「古文書調査体験講座」「高句麗史と東アジア」、福知山高校・附属中学校、計39名</p> <p>2025. 1. 24 舞鶴市史OCR化・生成AI活用に関するワークショップ、府立大学、教員・院生・学生</p> <p>2025. 3. 3 鞭家・小松家文書の整理に関する説明、与謝野町、所蔵者・文化財担当者 7名</p>			
<b>【お問い合わせ先】</b>		<p>文学部歴史学科 教授：東 昇</p> <p>Tel: 075-703-5271</p> <p>E-mail: n-higashi@kpu.ac.jp</p>	

参考（イメージ図、活動写真等）



東舞鶴高校の MALUI 連携授業におけるグループワーク



福知山高校の土曜講座における高校生の報告